

一般公開(御代田)報告

御代田地区山地畜産研究部の一般公開が、8月30日に開かれました。公開のテーマは「放牧による安全な牛肉生産をめざして」とし、研究成果の展示紹介、傾斜放牧地で育成された肉牛の試食、「肉牛」、「小規模移動放牧」、「牧草」についてのミニ講演会、家畜・大型作業機械の展示、部内草地の見学バス運行などを催しました。

またつくば、那須の両地区からは研究展示、鶏展示、ハーブ牛乳試飲などの応援を得て、多方面の畜産研究を紹介しました。さらに地域の農協、営農組合、農業実践大学校、農政事務所、統計情報センターには、農産物・食べ物の提供、展示でご協力いただきました。

当日は曇で昼過ぎから霧雨となったため、来所者は545人と、前回より少ない人数でしたが多くの方に来所いただきました。牛肉を試食した方(518名)のうち404名からアンケートの回答がありました(回答率78%)。試食部位は、ロース、バラ、モモ、カタな



受付の様子



牛と遊ぶ来訪者

どでしたが、日頃食べている牛肉と比べての感想をアンケートしたところ、肉の総合評価は「よい」「少しよい」をあわせて72%の高ポイントとなりました。やわらかさの判断ではすこしかたいとやわらかいの2つにピークがありましたが、全体により評価で、皆様にはおいしく食べていただけたようです。なお試食肉牛は34ヶ月齢から約5カ月間肥育した未経産雌牛です。

(山地畜産研究部 草地土壌研究室長 山本博)